

# 長年の功績に深く敬意を表します

大館市功労者表彰は、市勢の発展、社会福祉増進、産業の振興、保健衛生の向上など、広く市民の模範となる功労があった個人や団体に対して行われます。毎年、市の記念日である4月1日に表彰式が行われます。今年度は次の方々を表彰しました。



高坂儀悦氏

(本郷2・74歳)

昭和56年から3期12年にわたり田代町議会議員として在職、田代町議会の円滑な運営に貢献されました。

また、昭和35年以来7期21年間にわたり田代町農業委員を務め、その間、昭和38年には田代町農業協同組合監事、昭和44年には同組合理事を務めるなど、自らの豊富な農業経験を生かし、町の農業振興に力を注がれました。

さらに、田代町消防団長として地域の安全確保に尽力され、地域消防の発展にも大きく貢献されました。



伊藤璿之進氏

(古川町・72歳)

昭和38年の大館市漁業協同組合設立時から43年間にわたり、同組合の副組合長並びに事務局長として尽力されました。

大館市漁業協同組合は、アユ、ニジマス、ヤマメ、イワナなどを放流し魚種の保存育成を行っているほか、監視員による環境保護、アユの遡上状況調査や外来魚の駆除、さらには釣り人へのマナー指導など多くの事業を行っています。これらの事業の実施に当たり、事務局長の役割や指導力は大きく、その豊富な漁業知識と実績は地域を越えて高く評価されています。



若松吉治氏

(下川端・79歳)

昭和47年から2期7年余りにわたり比内町議会議員として地方自治発展に尽くされた後、昭和55年3月から比内町第7代目町長として2期8年間町政を担当しました。

この間、比内町始まって以来の大事業である町立扇田病院の改築を実現。さらに教育環境の整備に尽力され、公民館図書室の設置、西館小学校及び大葛小学校での給食開始、西館小学校改築、民舞伝習館の建設など、比内町政の発展に尽力されました。



佐藤俊次氏

(横岩・75歳)

昭和59年から平成17年まで、7期21年間にわたり大館市農業委員として、地域農業の生産力発展、経営合理化、農地の有効活用などに尽力され、農家の地位向上に貢献されました。

一方、昭和62年から14年間農業後継者結婚相談員、昭和50年から26年間国土交通省米代川水位下川沿観測所観測員も務められ、さらに、大館市自作農協会会長や農協の農作業受託部会長も歴任するなど、地域農業発展のため必要と考えられることすべてにおいて力を発揮されました。